神遊第28回公演

砧

今の砧の聲添えて君がそなたに吹けや風

狂言 〈栗焼〉くりやき

主人（アド）はもらった四十個の栗を焼くよう太郎冠者（シテ）に命じる。失敗しながらも何とか全部焼き終わるが、皮をむくとあまりの見事さに理屈をつけつつもパクパクと食べてしまう。とうとう全部食べてしまった太郎冠者は主人にどうやって言い訳をするか…。

栗を焼き、食べてしまう様をリアルに演じるところがみどころ。

能 〈砧〉きぬた

筑前・芦屋の豪族何某（ワキ）は訴訟で上京して既に三年にもなるので、故郷が気になり、侍女の夕霧（ツレ）を使いとして、今年の暮れには帰る旨伝えさせる。夫の帰りを待ちわびていた妻（前シテ）はこれを聞いて一層恋慕の情を募らせる。おりから松風の音とともに砧を打つ音が聞こえ、蘇武の故事や七夕の契りを思いながら自らも砧を打って心を慰める。《砧之段》

しかし都から今年も帰れぬと知らせが届き、夫が心変わりしたものと思って妻は病に死してしまう。〈中入〉

下人（アイ）が経緯を語り、やがて帰国した夫は妻の死を知り、回向すると、やせ衰えた妻の亡霊（後シテ）が現れる。妻は夫の不実を責め、妄執のため邪淫地獄に堕ちたことを訴えるが、法華経の功徳によって成仏する。

一噌隆之　観世新九郎　柿原弘和　観世元伯　観世喜正

平成16年10月1日（金）

午後6時30分開演（開場5時45分）

国立能楽堂 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-18-11　TEL.03-3423-1331

全席指定 S席 8500円／A席 5500円

B席 4500円／学生券（B席）3000円

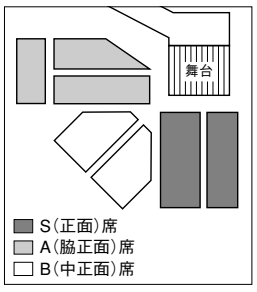
発売日 9月1日（水）

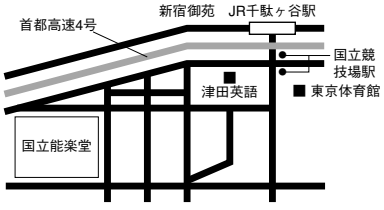
お問合せ･お申込み　神遊 03-5227-1830（TEL&FAX）

ticket@kamiasobi.com　http://www.kamiasobi.com/

チケットぴあ 0570-02-9988

電子チケットぴあ http://www.t.pia.co.jp/





寄り駅：JR中央・総武線 千駄ヶ谷駅下車徒歩5分／地下鉄大江戸線 国立競技場駅下車A4出口徒歩5分　**都バス：**早81（渋谷—早大正門）千駄ヶ谷駅前下車徒歩5分黒77（目黒—千駄ヶ谷駅前）千駄ヶ谷駅前下車徒歩5分

舞囃子 **難波**

若松 健史

大鼓 柿原 弘和　太鼓 観世 元伯
小鼓 観世新九郎　笛 一噌 隆之

地謡 武田 文志　武田 尚浩　関根 知孝　北浪 貴裕

狂言 **栗焼**

シテ（太郎冠者）山本 則直　アド（主人）山本 則俊

能 **砧**

ツレ（侍女夕霧）馬野 正基

前シテ（蘆屋某の妻）
後シテ（妻の亡霊）観世 喜正

ワキ（蘆屋某）宝生 閑

アイ（下人）山本東次郎

大鼓 柿原 弘和　太鼓 観世 元伯
小鼓 観世新九郎　笛 一噌 隆之

地謡 武田 文志　武田 尚浩　佐久間二郎　岡 久廣　古川 充　若松 健史　北浪 貴裕　関根 知孝

後見 観世 喜之　駒瀬 直也　弘田 裕一